

教科(科目)	国語(現代の国語)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 標準 現代の国語』				
副教材等	学研『現代新国語辞典改訂第六版』、第一学習社『新訂チャレンジ常用漢字』				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- ② 様々な文章の文意を的確に把握することのできる能力を育成します。
- ③ 自分の考えをしっかりと確立し、更にそれらを的確に表現することによって、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・ 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・ 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけるようにしている。	・ 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・ 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ ペーパーテストの分析 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ ペーパーテストの分析 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・ レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・ 振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観 点	評価方法
4	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぼう。	4 「B 書くこと」	手塚治虫 「世界は謎に満ちている」	<ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・本文の構成と論理の展開を捉え、要旨をまとめようよしている。 ・読書の効用について積極的に考え、自分の意見や考えを論述しようとしている。 	b a c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	目的や場に応じて適切な話題を決め、情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討する方法を学ぼう。	2 「A 話すこと・聞くこと」	言語活動 「話し方の工夫」	<ul style="list-style-type: none"> ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解する。 ・相手、目的、場面に応じた言葉づかいを理解する。 積極的に場の状況に応じて言葉づかいを選び、使おうとしている。 	a b c	
5	定期テスト				a, b	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈する方法を学ぼう。	4 「C 読むこと」	中村桃子 「言葉遣いとアイデンティティ」	<ul style="list-style-type: none"> ・人間関係を調整する「言葉」と「言葉遣い」の役割について、具体的な事例とともに理解を深める。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・言葉には認識や思考を支える働きがあることを理解し、考えたことを積極的に発表しようとしている。 	a b c	
	自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぼう。	3 「B 書くこと」	言語活動 「書き方の基礎レッスン」	<ul style="list-style-type: none"> ・表記、表現の基本ルールを理解する。 ・効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけようとしている。 ・進んで表記、表現の基本ルールを理解し、正確でわかりやすい文章を書こうとしている。 	a c c	

6	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぼう。	4 「B 書くこと」	山崎正和 「水の東西」	<ul style="list-style-type: none"> ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述の方法を把握する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・個別の情報を一般化する筆者の論理について自分の考えを持ち、表現を工夫してまとめようとしている。 	b b c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫する方法を学ぼう。	3 「A 話すこと・聞くこと」	言語活動 「スピーチで自分を伝える」	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見を聞き手にわかりやすく伝えるスピーチの方法を理解し、実践する。 ・他の人のスピーチを聞き取り、評価する方法を学ぶ。 ・進んで表現や話し方を工夫し、効果的に話そうとしている。 	b b c	
7	定期テスト				a, b	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめよう。	4 「C 読むこと」	「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」	<ul style="list-style-type: none"> ・与えられた資料と会話文を関連づけながら、必要な情報を読み取り活用する。 ・異なる形式で書かれた複数の文章を読み、理解したことをまとめる。 ・複数の文章から読み取った情報を吟味し、文章の構成に注意してまとめようとしている。 	b b c	
	資料や機器を効果的に用いて、表現の仕方を工夫する方法を学ぼう。	3 「A 話すこと・聞くこと」	言語活動 「理想の修学旅行をプレゼンする」	<ul style="list-style-type: none"> ・プレゼンテーションの方法を理解し、実践する。 ・効果的なスライドの作り方を理解する。 ・相手、目的、場面を考慮し、積極的にプレゼンテーションを行おうとしている。 	b b c	

9	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぼう。	4 「B 書くこと」	内田 樹 「人はなぜ仕事をするのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・本文で使われている「パス」という言葉の意味を考え、筆者が述べる仕事の本質について考察する。 ・働くことに対する考えが深まったかを進んで振り返り、根拠を挙げて説明しようとしている。 ・筆者の仕事観を理解し、自分の意見や考えを論述する。 	b c b	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぼう。	3 「B 書くこと」	言語活動 「実用的な手紙文の書き方」	<ul style="list-style-type: none"> ・実用的な手紙文として、依頼文や案内文の書き方を理解し、実践する。 ・説明や表現の仕方を工夫して、積極的に依頼文や案内文を書こうとし、批評しようとしている。 	b c	
10	定期テスト				a, b	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈する方法を学ぼう。	4 「C 読むこと」	鷺谷いづみ 「イースター島になぜ森がないのか」	<ul style="list-style-type: none"> ・イースター島の歴史について理解し、筆者が提示する人類と生態系のあり方について考察する。 ・例示などの修辞を理解し、語彙を豊かにする。 ・論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 	b a b	
	自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぼう。	2 「B 書くこと」	言語活動 「社会に対する意見文を書く」	<ul style="list-style-type: none"> ・意見文とはどういうものかを理解する。 ・意見文の書き方を理解し、実践し、評価する。 ・説明や表現の仕方を工夫して、積極的に意見文を書こうとしている。 	b b c	
11	文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぼう。	4 「B 書くこと」	高階秀爾 「「間」の感覚」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を的確に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・情報と情報を対比させながら、論理の展開を分析しようとしている。 ・論理の展開を理解し、要旨をまとめようとしている。 	b b c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	自分の考えが的確に伝わるよう、文章の構成や展開を工夫する方法を学ぼう。	3 「A 話すこと・聞くこと」	言語活動 「論理的な表現」	<ul style="list-style-type: none"> ・論理的に表現するための、主張と理由の妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現の仕方について理解する。 ・進んで主張、根拠、理由付けの関係を理解したり話し合ったりしようとしている。 	a b c	
12	定期テスト				a, b	

	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぼう。	4 「C 読むこと」	本田弘之 「限後としてのピクトグラム」	<ul style="list-style-type: none"> ・ピクトグラムが持つ「言語」としての機能を理解し、言語表現の多様性について考えを深める。 ・常用漢字を習得し、語彙を豊かにする。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ピクトグラムの問題点や修正案を考え、積極的に発表しようとしている。 	b a b	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にし、話の構成や展開を工夫する方法を学ぼう。	3 「A 話すこと・聞くこと」	言語活動 「相手に伝わる案内をする」	<ul style="list-style-type: none"> ・目的に沿って的確に案内する方法を理解する。 ・進んで表現や話し方を工夫し、効果的に話そうとしている。 ・相手、目的、場面を考慮し、積極的に案内役を演じようとしている。 	b c c	
1	文章に含まれている情報を相互に関連づけながら、内容を解釈する方法を学ぼう。	4 「B 書くこと」	原沢伊都夫 「ステレオタイプの落とし穴」	<ul style="list-style-type: none"> ・ステレオタイプとは何かについての展開を把握し、筆者の主張を理解する。 ・ステレオタイプについての自分の意見や考えを論述する。 ・本文を読んで理解を深め、実社会から題材を求めて発表しようとしている。 	b b c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	目的や場に応じて適切な話題を決め、伝え合う内容や検討する方法を学ぼう。	2 「A 話すこと・聞くこと」	言語活動 「待遇表現」	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語表現を意識した言葉遣いを理解する。 ・相手や場に応じた表現が選択できるようになる。 ・積極的に敬語表現を理解して使おうとしている。 	a b c	
2	文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぼう。	4 「C 読むこと」	古浜逸郎 「日本語は世界をこのように捉える」	<ul style="list-style-type: none"> ・文章を分析的に読み、具体例を多用した論理の展開を理解する。 ・事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する。 ・論理の展開を分析し、筆者の主張をまとめようとしている。 	b b c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出

		2 「B 書 くこと」	言語活動 「地域の魅 力を紹介す る」	・必要な情報を収集し、的確に紹介 する方法を理解する。 ・説明や表現の仕方を工夫して、積 極的に紹介文を書こうとしている。 ・書いた紹介文を進んで批評し合 っている。	b c c	
	定期テスト				a, b	
3	目的や場に応じ て適切な話題を 決め、伝え合う内 容や検討する方 法を学ぼう。	4 「A 話 すこと・ 聞くこ と」	言語活動 「合意形成 のための話 し合いを行 う」	・話し合いの進め方のルールを理 解する。 ・論点を共有し、考えを深めたり広 げたりしながら、話し合いを実践す る。 ・進んで表現や話し方を工夫し、効 果的に話そうとしている。 ・積極的に話し合いを振り返り、評 価しようとしている。	b b c c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出

計70時間 (50分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A「話すこと・聞くこと」 20 時間	B「書くこと」 30 時間	C「読むこと」 20 時間
-----------------	-----------------------	------------------	------------------

6 課題・提出物等

- ・ 年間10回程度漢字テストがあります。テスト範囲は、別途提示します。
- ・ 単元ごとに、ノート、課題プリント点検を行います。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。

7 担当者からの一言

「現代の国語」は、実社会・実生活に生きて働く国語の能力を育成する科目です。実社会に必要な国語の知識や技能を身につけたり、言葉による見方考え方を働かせ、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像する力を伸ばしたり、言葉が持つ価値への認識を深めたりすることなどを目指します。予習として授業前には必ず教科書に目を通していき、自分のわからない点をはっきりとさせておきましょう。また、授業中は先生の指示を待つだけでなく、自分で考えて発言するなど、積極的に授業を受けて欲しいと思います。この1年間で日本語の基礎をしっかりと学び、実社会・実生活に役立つ国語力の基礎を身に付けてください。(担当：小野仁子)

教科(科目)	国語(言語文化)	単位数	2単位	学年(コース)	1学年
使用教科書	第一学習社『高等学校 標準 言語文化』				
副教材等	学研『現代新国語辞典改訂第六版』、学研『学習用例古語辞典』改訂第三版コンパクト版				

1 学習目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝えあう力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- ② 様々な文章の文意を的確に把握することのできる能力を育成します。
- ③ 自分の考えをしっかりと確立し、更にそれらを的確に表現することによって、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	・「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を効果的に使おうとしている。

4 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価の観点	・生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにしている。	・「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに創造したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	・言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手として言葉を効果的に使おうとしている。
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ペーパーテストの分析 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・授業中の発言、発表や討論への取組の観察 ・レポートやワークシート、意見文、提出物などの内容の確認 ・振り返りシートの記述の分析 などから、評価します。

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	評価の観点	評価方法
4	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぼう。	4 「B 読むこと」	三浦哲郎 「とんかつ」	・内容や構成、展開などを的確に捉える。 ・読書の意義と効用を理解する。 ・人物像や心情を捉え、まとめようとしている。	b a c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
		2 「B 読むこと」	「古文の学習」 「児のそら寝」	・古典の文章に慣れるとともに、内容や展開を的確に捉える。 ・歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語の決まりを理解する。 ・積極的に読み味わい、互いに話の面白さを伝え合おうとしている。	b a c	
5	定期テスト				a, b	
	作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぼう。	2 「B 読むこと」	「清水へ」	・短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・特徴的な短歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、ものの見方、感じ方を豊かにしようとしている。	b a c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	折句を用いて、感じたことを短歌で表す方法を学ぼう。	2 「A 書くこと」	言語活動 「折句を用いて短歌を作る」	・折句を用いて、感じたことを短歌で表す。 ・進んで折句の技法と伝統を理解し、折句を用いて短歌を創作しようとしている。	b c	
	作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぼう。	4 「B 読むこと」	「なよ竹のかぐや姫」 (竹取物語)	・古文の世界への親しみを深めるとともに、内容や展開を的確に捉える。 ・動詞の活用について、文語のきまりを理解する。 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。	b a c	
6	我が国の文化と外国の文化との関係について理解しよう。	6 「B 読むこと」	「漢文の学習」 「訓読に親しむ (一) (二) (三)」	・漢文を訓読するための基礎知識として、訓読のきまりについて理解し、返り点、助字、再読文字を習得する。 ・文章を読み、内容や展開を的確に捉える。 ・漢文の訓読に慣れるとともに、故事成語の由来について理解する。	a b a	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
7	定期テスト				a, b	

	我が国の文化と外国の文化との関係について理解しよう。	6 「B 読むこと」	「矛盾」 「五十歩百歩」	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解しようとしている。 	b c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
9	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぼう。	6 「B 読むこと」	芥川龍之介 「羅生門」	<ul style="list-style-type: none"> ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・語彙を豊かにし、常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・作品の成立した背景を踏まえ、内容の解釈を深める。 ・『今昔物語集』の説話と読み比べ、作者の工夫をまとめようとしている。 	b a b c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
10	定期テスト				a, b	
	我が国の文化と外国の文化との関係について理解しよう。	6 「B 読むこと」	「蛇足」 言語活動 「故事成語の由来と意味を調べる」	<ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・故事成語の由来となった話を積極的に読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解しようとしている。 ・故事成語の由来を調べ、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 	b b c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
11	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぼう。	4 「B 読むこと」	「春はあけぼの」 (枕草子)	<ul style="list-style-type: none"> ・随筆という文章の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉える。 ・時間の経過による言葉の変化について理解する。 ・作品に表れたものの見方、考え方や美意識を積極的に理解し、自分の考えを伝え合おうとしている。 	b a c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
		4 「B 読むこと」	「鶏口牛後」	<ul style="list-style-type: none"> ・史伝という文章の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉える。 ・「鶏口牛後」の由来を知り、古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解する。 ・積極的に史伝を読み、戦国時代の遊説家の説得術を解釈しようとしている。 	b a c	

12	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぼう。	4 「B 読むこと」	「東下り」 (伊勢物語)	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語という文章の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉える。 ・助動詞について、文語のきまりを理解する。 ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を捉えようとしている。 	b a c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う方法を学ぼう。	2 「A 書くこと」	言語活動 「古典の和歌を現代の言葉で置き換える」	<ul style="list-style-type: none"> ・和歌を書き換えて、互いの解釈を比べ合う。 ・「伊勢物語」との関係性を踏まえながら本文を読み、解釈を深めようとしている。 	b c	
1	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぼう。	4 「B 読むこと」	「唐詩の世界」	<ul style="list-style-type: none"> ・表現や技法に留意して漢詩を鑑賞し、古代中国の人々が自然や人事に向けた思いを読み取る。 ・漢詩のきまりを理解する。 ・漢詩のきまりを進んで理解し、見通しを持って漢詩を鑑賞しようとしている。 	b a c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぼう。	4 「B 読むこと」	三崎亜記 「公園」	<ul style="list-style-type: none"> ・架空の設定を時間を伴って描いた小説を通して、私たちを取り巻く日常についての考えを深める。 ・語彙を豊かにし、常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・叙述を注意深く読み、込められ風刺や皮肉について論じようとしている。 	b a c	
	2	作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぼう。	4 「B 読むこと」	「仁和寺にある法師」	<ul style="list-style-type: none"> ・思索的な随筆を読んで、作者の批判精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・文語のきまりを理解する。 ・作者の批判、教訓、感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。 	
3	文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などを的確に捉える方法を学ぼう。	4 「B 読むこと」	三浦哲郎 「祭りの笛」	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統行事について書かれた文章を読み、内容を効果的に伝えるための筆者の工夫を理解する。 ・我が国の伝統行事についてももの見方を深めようとしている。 	b c	授業態度 指名音読 発問評価 発表・報告 ワークシート ノート提出
	我が国の伝統文化に関する題材を選び、随筆に書き表す方法を学ぼう。	2 「A 書くこと」	「『祭り』をテーマに随筆を書く」	<ul style="list-style-type: none"> ・「祭りの笛」を振り返り、構成や表現に工夫を凝らして随筆を書こうとしている。 	c	

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「書くこと」 6 時間	B 「読むこと」 64 時間 〔 古典 44 時間 近代以降の文章 20 時間
-----------------	------------------	--

6 課題・提出物等

- ・ 単元ごとに、ノート、課題プリント点検を行います。
- ・ 長期休業中の課題は別途指示します。

7 担当者からの一言

「言語文化」は生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける科目です。また、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことや、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させることも目標にしています。予習として授業前には必ず教科書に目を通しておき、自分のわからない点をはっきりとさせておきましょう。また、授業中は先生の指示を待つだけでなく、自分で考えて発言するなど、積極的に授業を受けて欲しいと思います。様々な文章を読むことで基礎・基本をしっかりと学習し、高校3年間の土台をしっかりと築いていきましょう。
(担当：平澤明男)

教科(科目)	国語(国語表現)	単位数	3	学年(コース)	3学年(全コース)
使用準教科書	改訂版国語表現(大修館書店)				
副教材等					

1 学習目標

目的や場面に応じて、適切に表現する力を養う。また、表現活動を通して、自己や他者、外の世界についての認識を深める。さらに社会生活に役立つ国語力、コミュニケーション能力を身につける。

2 指導の重点

文章を書く練習を行うことにより、目的や場に応じて、言葉や文体などを適切に使えるようにする。また、新聞やさまざまな出版物を利用することで、身近な事柄や社会のさまざまな問題について考え、ものの見方・考え方を深める。さらに作文や小論文、レポート文を作成することで、論理的に物事を考え、自分の考えを筋道立てて文章化する力を養う。

3 学習計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	書いて伝える	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 文章の決まり・ルールを学び、整った文を書く。 相手の立場になり、わかりやすい文を書く。 絵や写真を見て、状況を客観的に捉えながら書く。 	8	授業態度 提出物 小テスト
5					
6	小論文・レポート入門	書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 小論文とは何かを学ぶ。 反論を想定して、より説得力を加えながら書く。 資料を読み取り、その特徴を捉えながら書く。 発想を広げて書く。 	14	
7					
	自己PRと面接	書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身を見つめ直して、効果的な自己PRを考える。 面接事項に対する自分の回答を考え、説得力を持って話す。 将来の自分に思いをめぐらし、志望動機をまとめる。 	13	
9	メディアを駆使する	読むこと 書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 新聞を読み、社会的な事象について理解する。 新聞記事や論評などを読み、その内容を要約する。 新聞記事や論評などを読み、その文章に対して自分なりの意見文を書く。 意見文を発表するとともに、他者の発表を聞き、相互評価する。 	15	
10					
11	声とコミュニケーション	読むこと 書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 他者に伝えたいこと・話したいことのアイディアを集める。 話したいことを取捨選択しながら、ショートスピーチの原稿を作る。 他者の前でショートスピーチを行う。 他者のショートスピーチを聞き、感想を伝える。 	10	
12	会話・議論・発表	読むこと 書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 相手や場面に応じた適切な言葉遣いを意識する。 集団で議論し、さまざまな意見の中から良い結論を導く練習をする。 聞き手を意識しながら、プレゼンテーションを行う。 	10	

1	表現を楽しむ1	読むこと 書くこと 話すこと 聞くこと	<ul style="list-style-type: none"> 図書館で必要な資料や文献を探して集める。 自分の住む町のパンフレットを作成する。 本の帯やポップを工夫して書き、推薦図書を紹介を行う。 	15
2	表現を楽しむ2	読むこと 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 自身の日常生活から題材を見つけ、エッセイを書く。 すぐれたエッセイ作品を読み、書き方を学ぶ。 	10
3	表現を楽しむ3	読むこと 書くこと	<ul style="list-style-type: none"> 1年間の国語表現の学習を活かしながら、さまざまな題材について意見文を書く。 	10

4 課題・提出物等

授業内容に応じて、平素から課題や作文等を提出してもらおう。

5 評価規準と評価方法

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価規準	日本語や文章表現への関心を深め、積極的に課題に取り組み、すすんで理解・表現し伝え合おうとしている。	相手のことを考えながら話すとともに、他者の意見を適切に受け止めてコミュニケーションする態度が身についている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いている。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしている。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身につけている。
評価方法	以上の点を踏まえ、 ・平素の授業への取り組み状況 ・課題等、提出物の提出率、およびその内容 などから総合的に判断して評価します。				

6 担当者からの一言

「国語表現」は日常生活に密接に結びついた科目です。目的や場面に応じて他人と円滑に関わることのできる能力を身につけることが目標です。特に大切なのは、「自分で考えること」です。その上で「相手に伝える」、また「相手の言葉を聞き取る」ことを心がけてください。そのためには、表現手段としての言葉の基礎を身につけ、発展させることが大切です。授業は「書く」「話す」など、実技の要素が多くを占めますが、積極的な取り組みを期待しています。

教科(科目)	国語(教養現代文)	単位数	2	学年(コース)	3学年(文理コース)
使用準教科書	新編国語総合(数研出版)、新編現代文B(数研出版)				
副教材等	基本の現代文(尚文出版)				

1 学習目標

1年で学習した「国語総合」、2年で学習した「現代文B」の基本的な内容理解を更に深め、国語を適切に表現し的確に理解する能力を育成する。更にそれらを応用・発展させた内容の学習に取り組むことで思考力や想像力の伸長を図る。また、様々な文章に触れることにより言語感覚を磨き、今後社会に出た時に必要となる文章を独力で読解する力を養う。

2 指導の重点

既習事項の総合的な学習をするとともに、未習事項の中から主に評論、小説を扱い、読解力の向上に努めていく。評論ではキーワードの読み取りを中心に文章構造を把握し、論理的な文章を理解することを狙いとする。また小説では人物の心情描写に注目しながら、本文に忠実な読み取りをしていくことを指導する。更に正しい表記、表現ができるようにするとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深められるように指導していく。

3 学習計画

月	単元名	教材	主要学習領域	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	評論	水の東西 (山崎正和) 【国語総合】	読むこと 書くこと	・対比構造になっている評論を読んでその内容を的確に理解する。 ・「水」以外に、日本と西洋で感じ方や考え方の違いを感じさせるものを挙げ、互いの意見に触れることで、日本文化に対する理解をより深める。	8	授業態度 提出物 定期考査 小テスト
5	小説	羅生門 (芥川龍之介) 【国語総合】	読むこと 書くこと	・巧みな比喩表現や情景描写などの効果的な使い方を学びながら登場人物の心理を押さえていくことで小説の面白さを感じる。 ・作品の主題を自分自身の視点で考察し、互いの意見に触れることで「人間とは何か」や「真の善悪の価値観」への考えを深める。	10	
6	評論	失敗談 (外山滋比古) 【現代文B】	読むこと	・具体例と一般論のつながりを意識して読解する。 ・「セレンディビティ」の内容と本質について理解を深め、論旨をつかむ。	6	
7	評論	花のような人 (山本文緒) 【現代文B】	読むこと	・他者とのコミュニケーションのあり方について考える。 ・登場人物の職業観を押さえた上で、働くということについて考える。	6	
8	小説	こころ (夏目漱石) 【現代文B】	読むこと 書くこと	・長編小説を読む力を鍛え、作品の構造について俯瞰的に見る力を身につける。 ・心情表現や比喩表現を捉え、登場人物の立場や状況を踏まえたうえで、心情や行為の意味を理解する。 ・作者がこの作品で描きたかったことや、「明治」という時代について自分の意見を書き、互いに批評する力を付ける。	14	
9	評論	コインは円形か (佐藤信夫) 【国語総合】	読むこと	・人間の認識が一面的になりがちであることを、具体例を読み解くことで実感させる。 ・「レトリック感覚」がどのようなものであるかを理解し、その必要性を学ぶ。	8	
10	小説	沖繩の手記から (田宮虎彦) 【国語総合】	読むこと 書くこと	・登場人物の考え方や生き方を読み取る。生と死や極限状態における人間の姿について深く考察する。 ・作品がp206.14行目で終わると仮定し、生き延びたキヨから「私」に宛てた手紙を	12	
11						
12						

			800字程度で書く。	
評論	ロボットと人間の未来 (石黒浩) 【現代文B】	読むこと	・ロボットと人間の関わりについて今後のあり方を考察する。 ・人間とは何かという哲学的問いについて考察する。	6

4 課題・提出物等

授業内容や進度に応じて、学習プリントや課題を平素から提出してもらおう。その他、定期考査後にノート
の提出がある。

5 評価規準と評価方法

観点	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
評価規準	国語や言語文化への関心を深め、国語を尊重し、すすんで理解・表現し伝え合おうとしている。	/	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いている。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしている。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字などを理解し、知識を身につけている。
評価方法	以上の点を踏まえ、 ・平素の授業への取り組み状況 ・課題等、提出物の提出率、およびその内容 ・定期考査等の結果などから総合的に判断して評価します。				

6 担当者からの一言

「現代文」は、現代人が身につけるべき日本語の基礎を学ぶ科目です。日常生活で必要とされる日本語は、例えば小説などの文学的な文章であり、挨拶や報告などの社会生活を円滑に営むための実用的な日本語であり、また、平和、文明、環境など社会の問題について理論的に考え意見を述べるときに必要な日本語であるなど様々です。この授業では様々な文章を扱うことで、これらの多様な日本語を、より深く、確かな国語力として身につけてもらうことを狙いとしています。